



「強いもの 弱いもの」

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

さきごろ新しい「家族」が我が家にやってきて、私たち夫婦は里親になりました。迎えたのは推定5歳の男の子です。私たちで誕生日も決めました。いつ、どこで生まれたのかはわかりません。記録が残っているのは、捕獲された日と場所だけの保護犬です。

我が家に迎え入れてからも、いつも部屋の隅で丸まって、まだ懐いてくれません。視線が合うとすぐに後ずさりして、餌を食べている様子を振り返ったら、それだけで隠れてしまいます。私は「安心していいよ。全部おまえの分だよ。誰もとったりしないからゆっくりお食べ。」というのですが、陰からこちらに向けた目はいまでも悲しそうに見えます。保護されるまでは石を投げられたり、棒で追われたりする毎日だったことなのでしょう。これまでどんなくらしをしていたのか、どれほど恐ろしい思いやひもじい思いをしてきたのかと考えると、切なくて涙が出そうになってきます。

人はときどき小さな動物に石を投げたり大きな声を出して脅かしたりすることがあります。それは、自分より小さな生き物は石を投げたり、棒で追ったり、大きな声で脅かすと逃げることを知っているからです。こちらが相手より優位にあるから、リスクを気にせず攻撃するのです。

しかし、これは相手が動物に限ったことではありません。相手が小さい、抵抗しない、反撃できない立場の人に対して、このようなことが起きると考えると、社会のいじめ、ハラスメント、ネットの炎上や晒しなど他人に対する攻撃や差別、難民や少数民族の排除、果ては他国への侵略や戦争も、もとをただせばどれも同じです。

小さいとか弱いというのは物理的だけではなく、政治や経済など社会的な立場が基準になることもあり、文化的な立場にも多数派と少数派があります。そして、何より忘れてはならないのは、これらの基準は絶対的なものではなく、相対的なものであるという点です。

私は強いと思っていても、自分より強い者が現れたら相対的に弱くなります。選挙で勝てば与党、次の社長が新しい号令をかければ経営方針の転換です。先生には口答えをしない子供がおとなしい同級生をいじめる、本部からのノルマにあえぐ店長がアルバイトをこき使う…など、弱い者は自分より弱いものを虐待し弾圧します。自分が強いからいじめるのではなく、本当は弱いからいじめるのです。



いじめもハラスメントも「ダメなやつだから要らない」「我が社の存続のため」と、正当化する理由を探し、虐待も、差別も、戦争も「民族の発展と繁栄のため」「伝統と文化を守るため」と大義を掲げ、弱い者を攻撃して小さき者をなかったことにします。これこそ世の中がいくら相対的だと言っても「あってはならないこと」です。私たちの社会は定まりない世の中ですが、しかし一歩ずつでも可能な限り、真理や正義という絶対的な価値に近づく努力をしなければなりません。

一口メモ 「聖書に書かれた動物たち… “ノア方舟”」 (創世記6章―9章)

みなさんは旧約聖書の「ノア方舟」の物語を知っていますか。神がつくった人間は、後に思いがち悪くして悪いことをするようになり、これを見て怒った神は洪水で地上のすべてを流してしまおうと考えます。そこで、神はノアに家族と動物のつがいを選んで方舟に載せるよう命じました。悪いものがすべて流されて、雨が止み、水がひいて、地が乾き、動物たちを伴って方舟から出たノアの家族を神は「生めよ、ふえよ、地に満ちよ。」と祝福されました。

すべての生き物をつがい載せた方舟とは、一体どのくらいの大きさだったのでしょうか。





ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。



ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

